

# クシシュトフ・ヤブウォンスキ

## Krzysztof Jablonski (Piano)

クシシュトフ・ヤブウォンスキは、1985年ワルシャワにおけるショパン国際ピアノコンクールで入賞、アルトゥール・ルービンシュタイン国際ピアノマスターコンクールでゴールド・メダルを受賞したほか、ミラノ、パーム・ビーチ、モンツァ、ダブリン、ニューヨーク、カルガリーにおける各国際ピアノコンクールで数々の賞を受賞している。

30年以上にわたってソロ、室内楽、およびオーケストラ共演など、活発に演奏活動を行い、ベルリン・フィルハーモニーの「マスター・コンサートシリーズ」を始め、ヨーロッパ、アメリカ、アジア、イスラエルの主要ホールで演奏している。

オーケストラへの客演としては、ゲルギエフ、ボレイコ、ペンデレツキ、ブリュッヘン、ヴィット、ヤン・クレンツなどの指揮者のもと、18世紀オーケストラ、ベルン交響楽団、シュトゥットガルト放送響、デュッセルドルフ響、ハンブルク響、イェーナ・フィル、ヘルシンキ・フィル、ラハティ響、東京都交響楽団、東京フィル、九州交響楽団、霧島祝祭管弦楽団、ワルシャワ・フィル、ポーランド国立放送カトヴィツェ響などと頻繁に共演。

室内楽奏者としても、堤剛、アルト・ノラス、コンスタンツィ・アンジェイ・クルカ、テン・リーなどのアーティストと共演しており、1962年にウァディスワフ・シュピルマンによって創設された「ワルシャワ・ピアノ五重奏団」のメンバーも務めている。

ヤブウォンスキのロマンティックな気質は、長年にわたって彼の音楽の嗜好と興味を形成し、フェルディナント・リース、アンリ・リトルフ、エルンスト・フォン・ドホナーニのピアノ協奏曲といった、コアな作品もレパートリーとしている。また、スクリャービン「プロメテウス」のような音の媒体に色光まで駆使する複合芸術プロジェクト（デュッセルドルフ響）、ワルシャワ国立歌劇場のバレエ「フォルテピアノニッシモ」（ロルカ・マシーン振付）、ドビュッシーの「ペレアスとメリザンド」（オリジナル・ピアノ版）などにも出演しているほか、ウィーン国立歌劇場舞踏会のオープニングにも招かれ、ウィーン国立歌劇場バレエ団とも共演。シカゴ、ミレニアム・パークのジェイ・プリツカーパビリオンでは数千人の観客を前に、K. ウルバンスキ指揮グラント・パーク管弦楽団とも演奏した。

2013年2月には、ゲルギエフ指揮ヘルシンキ・フィルとチャイコフスキーのピアノ協奏曲を演奏し、ライブでネット中継された。

2015年にはデビュー30周年を記念し、下野竜也指揮読売日本交響楽団、ヤツェク・カスプシク指揮ワルシャワ・フィルハーモニー管弦楽団とショパンのピアノ協奏曲第1番を演奏。2016年2月には30周年のしめくくりとして、サン＝サーンスのピアノ協奏曲第2番ト長調をパトリック・フルニエ指揮ワルシャワ・フィルと演奏した。

ヤブウォンスキは、これまでに多くの国のラジオやテレビでライブ収録を行った他、ドイツ、日本、およびポーランドで多数のCD録音も行っている。

株式会社ジャパン・アーツ

<http://www.japanarts.co.jp>

〒150-8905 東京都渋谷区渋谷 2-1-6

TEL: 03-3499-8100 / FAX: 03-3499-8102

JAPAN ARTS CORPORATION

<http://www.japanarts.co.jp>

2-1-6, Shibuya Shibuya-ku,

Tokyo JAPAN 150-8905

TEL: 81-3-3499-8091 FAX: 81-3-3499-8092

最近では国立ショパン研究所により、現代ピアノとピリオド・ピアノ両方によるショパン作品全曲演奏の録音を任されている。既にスタインウェイピアノ、エラールピアノでそれぞれエチュードを収録したCDがリリースされており、2020年に向けて全曲演奏の完遂を目指している。

ヤニナ・ブートルとアンジェイ・ヤシンスキ教授に師事し、マスタークラスでは、ルドルフ・ケーラーとニキタ・マガロフの下で研鑽を積んだ。1987年にカトヴィツェ音楽院を優等で卒業し、さらに1996年には同音楽院で博士号を取得。2004年から2017年にかけてはワルシャワのフレデリック・ショパン音楽大学の教授を務めた。

現在は、カルガリーの音楽学校であるマウント・ロイヤル大学、カルガリー大学のピアノ課、モーニングサイド・ミュージック・ブリッジ・プログラムの教授を務めている。2016年から2017年にはレスブリッジ大学の芸術学部教授としても活躍。大学の任務のほかにはマスタークラスや講演を行っており、数々の国際ピアノコンクールの審査員としても活躍している。2020年ショパン国際ピアノコンクール審査員。(1663字 2018/7/30)

## クシシュトフ・ヤブウォンスキ

### Krzysztof Jablonski (Piano)

クシシュトフ・ヤブウォンスキは、1985年ワルシャワにおけるショパン国際ピアノコンクールで入賞、アルトゥール・ルービンシュタイン国際ピアノマスターコンクールでゴールド・メダルを受賞したほか、ミラノ、パーム・ビーチ、モンツァ、ダブリン、ニューヨーク、カルガリーにおける各国際ピアノコンクールで数々の賞を受賞している。

30年以上にわたってソロ、室内楽、およびオーケストラ共演など、活発に演奏活動を行い、ベルリン・フィルハーモニーの「マスター・コンサートシリーズ」を始め、世界各地の主要ホールで演奏している。

室内楽奏者としても、堤剛、アルト・ノラス、コンスタンツィ・アンジェイ・クルカ、テン・リーなどのアーティストと共演。1962年にウワディスワフ・シュピルマンによって創設された「ワルシャワ・ピアノ五重奏団」のメンバーも務めている。

2013年2月には、ゲルギエフ指揮ヘルシンキ・フィルとチャイコフスキーのピアノ協奏曲を演奏し、ライブでネット中継が行われた。

2015年にはデビュー30周年を記念し、下野竜也指揮読売日本交響楽団、ヤツェク・カスプシツク指揮ワルシャワ・フィルハーモニー管弦楽団とショパンのピアノ協奏曲第1番を演奏。

最近ではポーランド国立ショパン研究所より、現代ピアノとピリオド・ピアノ両方によるショパン作品全曲演奏の録音を委任されている。既にスタインウェイピアノ、エラールピアノでそれぞれエチュードを収録したCDがリリースされており、2020年に向けて全曲演奏の完遂を目指している。

これまで、ヤニナ・ブートルとアンジェイ・ヤシンスキ教授に師事。2004年から2017年にかけてはワルシャワのフレデリック・ショパン音楽大学の教授を務めた。

世界各地でマスタークラスやレクチャーを行い、数々の国際ピアノコンクールの審査員としても活躍。2020年ショパン国際ピアノコンクール審査員。(771字 2018/7/30)

株式会社ジャパン・アーツ

<http://www.japanarts.co.jp>

〒150-8905 東京都渋谷区渋谷 2-1-6

TEL: 03-3499-8100 / FAX: 03-3499-8102

**JAPAN ARTS CORPORATION**

<http://www.japanarts.co.jp>

2-1-6, Shibuya Shibuya-ku,

Tokyo JAPAN 150-8905

TEL: 81-3-3499-8091 FAX: 81-3-3499-8092

# Krzysztof JABLONSKI (Piano)

Krzysztof Jablonski is Laureate of the F. Chopin International Piano Competition in Warsaw in 1985 as well as numerous top prizes at international piano competitions in Milan, Palm Beach, Monza, Dublin, New York, Calgary as well as Gold Medal at the A. Rubinstein International Piano Master Competition in Tel Aviv.

For almost 30 years Jablonski is active performing solo, chamber music as well as with orchestras on stages in Europe, Americas, Asia and Israel in prestigious concert halls, including appearances on the Master Concert Series at Berliner Philharmonie. Frequent guest of many orchestras, performed under baton of V. Gergiev, A. Boreyko, K. Penderecki, J. Semkow, J. Maksymiuk, F. Brueggen, W. Bothe, Y. Tezuka, T. Shimono, A. Wit, J. Krenz and with prominent ensembles such as Orchestra of the 18th Century, Berner Symphonie-Orchester, Radio-Sinfonieorchester Stuttgart des SWR, Duesseldorfer Symphoniker, Hamburger Symphoniker, Jenaer Philharmonie, Festival Orchestra of the Grand Teton Music Festival, Helsinki Philharmonic, Lahti Symphony Orchestra, Tokyo Philharmonic Orchestra, Kyushu Symphony Orchestra, Kirishima Festival Orchestra, National Philharmonic Orchestra in Warsaw, National Polish Radio Symphony Orchestra in Katowice. As chamber music recitalist he recently performed with Tsuyoshi Tsutsumi, Arto Noras, Konstanty Andrzej Kulka, Teng Li - to name just a few. He is a member of "Warsaw Piano Quintet" which was first founded by W. Szpilman in 1962.

Jablonski's rather romantic nature was shaping his music taste and interests over years. Beside most popular works Jablonski has in his repertoire, he also plays some less known compositions such as Concertos by F. Riess, H. Litloff, E. Dohnanyi. He was invited to perform for ballet, opera and theatre spectacles as well as for spectacular, multidiscipline projects with multimedia presentations and lights such as Scriabin's "Promethee" with Duesseldorfer Symphoniker, Ballet "Fortepianissimo" choreographed by Lorca Massine at the National Opera in Warsaw, original piano version of the Debussy's Pelleas et Melisande. He was invited to perform during opening of the Wiener Opernball in Vienna together with the Vienna State Opera Ballet choreographed by Giorgio Madia. Jablonski also performed for crowd of thousands with Grant Park Orchestra and K. Urbanski at the Jay Pritzker Pavilion in Millennium Park in Chicago.

In February of 2013, Jablonski performed Tchaikovsky's Piano Concerto with Maestro Valery Gergiev and Helsinki Philharmonic Orchestra during fundraising event "Clean Baltic Sea Concert" in Helsinki. This performance was streamed live over Internet as well as recorded by Finnish Radio and TV.

株式会社ジャパン・アーツ

<http://www.japanarts.co.jp>

〒150-8905 東京都渋谷区渋谷 2-1-6

TEL: 03-3499-8100 / FAX: 03-3499-8102

**JAPAN ARTS CORPORATION**

<http://www.japanarts.co.jp>

2-1-6, Shibuya Shibuya-ku,

Tokyo JAPAN 150-8905

TEL: 81-3-3499-8091 FAX: 81-3-3499-8092